### 広報 分まし

### 2011 8月臨時号

- ●東日本大震災大津波襲来……P 2
- 市長メッセージ······P8
- ●復興へ向けた主な取り組み…P9

# 東日本大震災

GANBAROU KAMAISHI

TEL22-2111/FAX22-2686 http://www.city.kamaishi.iwate.jp/

# 3.11 大津波美子

3月11日、午後2時46分ごろ、かつて経験したことのない 揺れがこのまちを襲った。

そのとき、誰もが津波の襲来を予感した。

襲ってきたのは我々の想像をはるかに超えた大津波。 その津波は、まちを破壊し、尊い人命、幸せな生活、大切 な財産を一瞬にして奪っていった。

### 【被害状況】

地区名	死亡者·行方不明者数 ※8月1日現在	被災住家数 ※7月21日現在
釜石地区	229	1, 485 (106)
平田地区	24	389 (117)
中妻地区	27	134 (134)
甲子地区	14	107 (107)
小佐野地区	28	145 (145)
鵜住居地区	583	1, 737 (49)
栗橋地区	7	2 (2)
唐丹地区	21	377 (31)
他市町村・身元不明	181	
合計	1, 114	4, 376 (691)

※死亡者数は釜石市で遺体収容された数。被災住家数のカッコ書きは地震被害数(内数)です。

東日本大震災

鎮魂と復興

GANBAROU KAMAISH

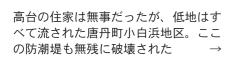
で揺らした。日没が迫る。この日、寒震は収まる気配がなく何度も地面津波は二度、三度とまちを襲った。



鵜住居地区で形を残した数少ない建物。時計の針は3時23分ころで止まっていた

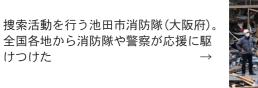


←防潮堤が決壊し、壊滅的な被害を受 けた両石町。まちは消滅し見渡す限り がれきの山と化した





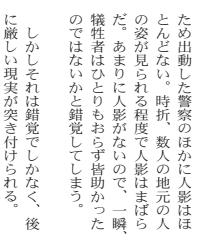
う自衛隊

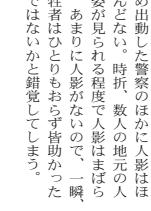


東日本大震災



-雪がちらつく中で生存者の捜索を行







がれきや被災車両が散乱した大町地区の裏通り

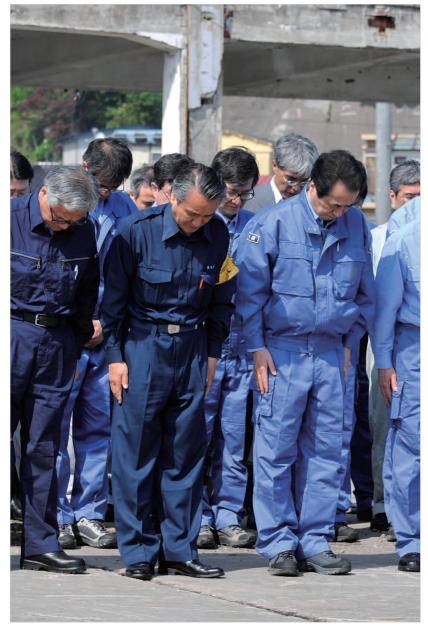
水の引いたまちは、がれきや破損 をない。このがれきはどうやって撤去 ない。このがれきはどうやって撤去 ない。このがれきはどうやって撤去 ない。このがれきはどうやって撤去 ない。このがれきはどうやって撤去 かるのか、このまちが元の姿に戻る ためにはどれだけの時間がかかるの か想像もできない状況だ。 入っている自衛隊、生存者捜索のまちの中には復旧作業のため現場

様相を呈した。 らめ、先の見えないサバイバ食料や水などの物資輸送は 焚き火をしたり でけるとって暖をとって暖を持ち寄っ

少しずつ明らかになる被害状況。 一方ではまだ3月中旬、避難所周辺の住民がストーブや毛布を持ち寄っの住民がストーブや毛布を持ち寄っの住民がストーブや毛布を持ち寄った。要能まだった。 の綱だった。 は孤立していた。 避難所は がそ 数が

により通信もできず、が始まった。道路が寸翌日から、自衛隊に 道路が寸断され、自衛隊による復四 。自衛隊だけが頼みきず、被災した地域路が寸断され、停電路による復旧作業

広報かまいし 平成23年8月臨時号



震災から3カ月、釜石港の岸壁で犠牲者に黙とうを捧げる 菅総理大臣【中央右】と野田釜石市長(6月11日)

### 東日本大震災

### 鎮魂と復興 GANBAROU KAMAISHI

### 【被災状況】

### ▶水産関係

10,761,380千円 ■漁港・海岸施設

■水産関係(3漁協分) 9,650,000千円 2,108,620千円

■漁業集落排水施設

▶農林関係

■農地・農業施設 ■林業 (林道含む) 2,873,000千円 125,000千円

▶公共土木施設

■道路 (80カ所) 751,000千円 ■橋 (3カ所) 125,000千円

【支援金などの支給状況】※7月29日現在

被災者生活再建支援金…3,395件(申請3,654件、進捗率92.9%) ······4, 219件 (申請4, 435件、進捗率95, 1%)



発災から1週間たった3月18日、犠牲者に黙とうを捧げる避難者(旧釜石一中)

発災から1週間経った18日には、 死亡者の届け出が450人を超え、 行方不明者は正確に把握しきれずに いた。日ごとに増える犠牲者の数。 市内での火葬は限界があり、県内外 の自治体に協力を求めた。愛する家 族との突然の別れを受け入れられな いまま、知らない土地で火葬が行わ れ、手厚い儀式で送ることができな れ、手厚い儀式で送ることができな

仮設住宅も完成した。被災地域内でる。まちのがれきはだいぶ片付き、8月11日で発災から5カ月を迎え

きっとこの津波で犠牲となった人たいいまちを創り上げよう。それが、り合い、寄り添いながら、以前より残されたわたしたちが共に手を取

へ歩み始め、 者もいる。 からない家族を探し続けている被災からない。一方では、まだ行方が分 市は9月末を目標に復興まちづくつ復興に向けて動き出した釜石。営業を再開した商店もある。少しず 策定を進め、 ようとして した釜石。少し

市は発災から4日目の3月4日、がれきに囲まれた市庁舎から鈴子町がれきに囲まれた市庁舎から鈴子町がれきに囲まれた市庁舎から鈴子町でよが容易になると、家族の安否確認など情報を求める人たちで長蛇の列ができた。通信手段である一般電話、携帯電話が使えない状況では掲示板を利用した張り紙しか手段がない。災害対策本部で用意した掲示板はすぐにいっぱいになった。

者235人に上ってい牲者は、死亡者870 害は4000棟を超えた。 っている。住家の被879人、行方不明 いる。

広報かまいし 平成23年8月臨時号

### \*復興へ向けた 主な取り組み

市は、1日も早い復興に向け、釜石市復興まちづくり計画の骨子を7月11日に策定 し、現在は、この基本計画の策定作業を進めています。

釜石市復興まちづくり基本計画策定後は、その計画を着実に、迅速に実施していき

ますが、市として今すぐに実施しなければならないことも多くあります。ここでは、 復興に向けた現在の取り組み状況や間もなく実施する取り組みをお知らせします。

③サポー

送ることができるよう、市民体育館孤立しないで安心して安全に生活を の支援 単身入居者が

訪問を行 ごせるよう継続 や包括支援センター その上で医療機関や福祉 、皆さんの健康状況を把センターの保健師が戸別生活応援センター保健師 心身ともに健康に過 して支援し

各地区の生活応援センター

把握します。必要な福祉サービスやが戸別訪問を行い、生活上の課題を社会福祉協議会の生活支援相談員 生活支援サービスを円滑に利用で るよう支援します

トセンターによる高齢者等

GANBAROU KAMAISHI

GANBAROU KAMAISHI

GANBAROU KAMAISHI

行います。

運営と管理業務は、

訪問サービス、

生活支援サービスを

たほとんどの人が入居を完了してい

64戸がすべて完成し、

待機して

建設を予定していた仮設住宅3

し、日常生活ンターには、

日常生活の相談、

デイサービス

仮設住宅入居者の支援

ます。 住宅入居者の支援を次のように行 住宅入居者の支援を次のように行います。市と関係機関が連携し、仮設

さんが安心して生活できるよう、平医療機関から離れた地域に住む皆 診療を行う医療モ 居田郷地区には、 ターに仮設の診療所を、 田多目的グラウンドのサポー 複数の医療機関が ルを設置します また、鵜住 トセン

るため、市内6カ所に仮設の店す皆さんの買い物の利便性向とい物が不便になっている地域で仮設住宅に入居した皆さんや 設飲食店を設置します。 設置します。 7月20日には、 がす。また、鈴子広場には仮市内6カ所に仮設の店舗を 県内第1号となる や

や、移動販売車への支援も行いながキッチンカーによる弁当などの販売工事を進めています。そのほか、めています。ほかの地区も、順次、 8月下旬の完成を目指して工事を進天神町仮設店舗建設に着工しました。

サービス事業者に委託します。

センターを設置します。早か区の仮設住宅地内に、 生活支援専門員を配置ソーを設置します。同セ 〔設置予定場所

### 仮設店舗

■大只越町 (大只越公園)

■天神町(旧釜石一中) 15 37 店店

■田郷地区(鵜住居公民館 ■日の神地区(民有地) 9 店

川目分館前)

調整中

■平田総合公園内

■鈴子町(鈴子広場など) ■旧釜石商業高校跡地 52 店 4 21 店店

中仮設飲食店

まれます。 ※店舗数は予定で 一部事務所も

### 市民生活全般の支援、 み

# インフラの整備 生活基盤を支える

国土交通省から発表されました。路として整備促進が図られる方針が、車道釜石秋田線については、復興道 これらの道路が通るおおむねの範 三陸縦貫自動車道と東北横断自 復興道

トが確定する予定です。 囲が示され、地域の皆さんから寄

地域の皆さんから寄せ

この基本方針に基づき、 市民45名で

構成する 談会」を開催しております。 り広く市民の意見を聴く「復興まちづくり懇 域会議」、そして市内各地域を二巡、三巡と回 議」、地域ごとの復興計画を協議する「復興地 家の意見を反映させる「復興プロジェクト会 ます。 この計画策定にあたっては、専門復興まちづくり計画の策定に取り組んで

が、がれき撤去については当初遅れが見られ宅への入居に力を入れて取り組んできました

住居周辺の撤去のスピードを上げ

これまでがれき撤去、あるいは応急仮設住い生活を余儀なくさせてしまいました。

方々はもちろんのこと、市民の皆様にも厳し

応がなされなかったこともあり、被災された たりと、様々な課題について迅速、適切な対

れたところにこれからも住めるのか」、「自分復興プラン」の骨子です。今後は、「住み慣りまとめ公表したものが「スクラムかまいし ンに定める将来像「三陸の大地に光り輝き希たいと考えています。そのうえで、復興プラ たちの地域をどのように再生できるのか」に 最終的には9月を目途に基本計画を完成させ 復興プランの骨子をより具体的にしていき、

机ました。東海市や朝日町をはじめとする姉巡回診察も行われ、被災者の命と健康が守ら

捜索活動が展開され、多くの人命が救われま 衛隊、警察隊、海上保安庁などによる救助・

発災直後には、地元の消防団をはじめ、自

した。日赤などの医療チー

ムによる避難所の

月にずれこんだものの、

建設予定戸数全31

64戸がすでに完成し、お盆前には希望者全

仮設住宅についても、7月中という予定が8 ることで、計画どおり進捗しておりますし、 復旧・復興に向けて全力で取り組んでまいり

る者としての責任の重さを日々痛感しながら、

あの日から5カ月。市民の負託を受けて

衷心よりお悔やみ申し上げます

りになられた方々のご冥福を謹んでお祈り申 し、多くの尊い人命を奪いました。お亡くな

大津波は当市の各湾に面する地域にも来襲

し上げるとともに、ご家族、ご親族の皆様に

による大津波は、東日本太平洋側沿岸に甚大3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震

して、心より感謝と御礼を申し上げます。援があったからこそであります。市民を代表

報提供ができなかったり、必要な支援が滞っ

くしてきたつもりではありますが、十分な情

しかしながらこの間、市としても全力を尽

個人などからは多くの支援物資を提供いただ

の事情やコミュニティの形成に配慮しきれな

ただ、仮設住宅の入居にあたっては、個々

い部分があり、期待に応えられないところも

少しずつ安定化に

申し上げ、

今後の改善に向けて努力します。

日には、「撓まず屈せず」という私からのメッさて、被災からちょうど1カ月目の4月11

妹都市や交流都市、全国の市町村、

民の皆様にお示しいたセージと、「復興まち、 みを市民一丸となって始めるためのものでし 石市民に脈々と受け継がれてきた不撓不屈の の皆様にお示しいたしました。これは、釜ージと、「復興まちづくりの基本方針」を市

にも努力していきます。

市民生活は、震災前とは環境が大きく変化

復興へ

「復興まちづくり委員会」を立ち上

ます。お慰めする言葉も見つかりません。

これらの手続きを踏んで先月7月11日に取

望と笑顔があふれるまち釜石」に向けた事業

場を整備していただくなど、 り戻していくとともに、 を進めるなど、生活の利便性を高める努力を 店街を形成したり、バスの運行や売店の設置 宅で生活せざるを得ません。そこで仮設の商 事業の実現までは、被災者の皆様は仮設住 また魚市場を再建して海の活気を取 地場企業には早く工

りました。ご家族の心情を察するに余りありわせると1100人を超える市民が犠牲にな 市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上 今回の震災により、死者、 行方不明者をあ

の動きを加速していきたいと思いますので、 しますが、こうした取り組みにより、

る者の使命になると考えます お亡くなりになった人々の鎮魂と、 がら次の世代へまちを引き継いでいくことが 添うことが出発点です。その想いをふまえな 当市の復興は、まずこの深い悲しみに寄り

)、市民の皆様と心をひとつにして復興に取次世代に誇りうるまちを創る使命を肝に銘

釜石市長

広報かまいし 平成23年8月臨時号

車道釜石秋田線の整備促進

①三陸縦貫自動車道、

東北横断自動

広報かまいし 平成23年8月臨時号

行方不明、

生活保護、重篤な傷病(1

た人(津波浸水区域)②震災で死亡、

❶居住する住宅が津波で被害を受け

【免除・減免の対象】

地、宅地、償却資産に損害を受けた上の損害を受けた人❹震災により居住する住宅が半壊以カ月以上の入院)の状態となった人

して安全で安心できる希望あふれる車道釜石秋田緩に きょう に取り組みます。 で早期の完成を目指し要望活動など 震災により多くの市道が甚大な被 三陸縦貫自動車道と東北横断自動

を終える予定です。今後は、国が行調査も実施中で、まもなく調査測量を終えています。また、 は調査測量を終えています。また、 ま調査を終え、約40件の被害を確認 復旧 う災害査定を実施しながら、 け 害を受けて なかっ 工事を進めます。 た地域の市道については被でいます。津波の被害を受 迅速に

居住地域の生活環境確保を優先し、 歩行者・通行車両などの安全確保と 側溝ふたの流出被害が多くあります 側溝ふたの設置作業を進めています。 津波の被害を直接受けた地域では

### ③漁港の復旧

算定、 ます。 と段階的に進めてい 漁港の被害個所を詳細に調査してい 国が行う災害査定を受けるため、 予算の確保、 調査が終了し次第、 いきます。 復旧事業の着手 被害額の

### 4がれきの撤去 発災以来、

実施するものです。

同省では、これ

でに仮置場への撤去を完了します。 T さ 県建設業協会釜石支部ほか多くの皆 きました。生活環境に支障をきたし 捜索などを優先しながら、 建物の解体を含めた市内全域のが いるがれきについては、 んのご協力により、 Rたとを優先しながら、道路、河 R からである (1) である (1) 自衛隊をはじめ、 行方不明者 8月末ま 岩 0

画です。

また、 環境

在、 害廃棄物の処理指針」に基づき、現省が示した「東日本大震災に係る災 しています。 同省と連携した試行事業を実施

⑤下水道の復旧

業被災資産修繕費事業費補助、

工場再建支援補助、

援補助の活用、

の中小企業等グループ復旧・工場を整備します。さらに、

230区画程度の仮設店舗

再建支援策として、

今後は、

被災した市内中

の処理を、別、中間処 での2カ月間、 きについて、 この試行事業は、 中間処理、 本市で先駆的、 解体、撤去、運搬、 市で先駆的、先導的に、最終処分までの一連解体、撤去、運搬、分 8月から9 月ま

GANBAROU KAMAISHI に生かします。市は、この試行事業の確立、効率的処理のマニュアル作成価し、今後、各市町村で本格的に行価し、今後、各市町村で本格的に評の確保などの観点から総合的に評らの工程を環境保全対策、適正処理 処理が完了するよう努めます。 仕組みを構築し、一日も早くがれきの結果を活用して効率的・効果的な

が創出されています。月末時点で1800人

活用やがれきの撤去、

などによる雇用で、6の撤去、仮設住宅の建。緊急雇用創出事業の模の雇用創出の

内企業などによる雇用で、

人を超える雇用

んできました。

### 津波に負けず今年も花をつけた佐須 地区のはまゆり (7月28日)

な状態となっています。しかし排水を回復して、ほぼ通常の利用が可能行った結果、各設備は最低限の機能 どの下水処理設備は、 全に停止しました。 きな被害を受け、 -水処理場、 設備は、津波により+ポンプ場、下水管な た。応急復旧工事を処理機能は一時完 仮により大下水管な

を進めます。

支援し、産業の本格的な復旧

被災した事業者の早期再開を全力で 被災中小企業家賃等補助などにより、

第2魚市場を活用して漁船か ②**釜石魚市場の再開支援** 

ら

GANBAROU KAMAISHI

設や貯氷施設の設置、電気給排水設水揚げを始めるために、荷さばき施 備などの工事を行います 少する見込みの人♂主たる事務所した人⑥震災により収入が大幅に 津波で被害を受けた法人 た人⑥震災により収入が大幅に減€震災により事業廃止または失業

## 【減免申請の受け付け】

漁業再建支援

流失した漁船の購入や修繕、

養殖

損害を受けた人) いた人、居住する を待たずに職 減免の理由が明らかな場合 受けた人)は、申請書の提出、居住する住宅が半壊以上の、津波浸水区域内に居住して ( 死 亡

行い、水産業の早期再建を進めます。施設や流通加工施設の復旧に助成を

よう、被災者台帳システムの構、未申請、未請求の被災者が出、市税等の減免措置の適用につ活再建支援金、災害義援金等の そのほかの

いて、 支給、

①被災者台帳システムの構築

します。

権により減免

生活支援

生活再建支援金、

築を岩手県に委託

します。

ないよう、被災者台帳システムの

税・国民健康保険税が減免となりま固定資産税・個人市民税・法人市民震災で被害を受けた人は本年度の

ンター 住居・栗橋・唐丹各地区生活応援セ 務課窓口)、甲子・小佐野・中妻・鵜受付窓口…シープラザ釜石2階(税 や保険証など)をご持参ください 身分証明書(免許 証

当すると思われる事業所には法人市書および減免申請書が必要です。該※5.2月1民務の減免の場合は、申告

GANBAROU KAMAISHI

悪災により被害を受けた人の負担 3介護保険被保険者の負担軽減 または一部を減免します。 軽減を図るため、 介護保険料の全部

■ 第 1 号被保険者の居住する住宅が



合同結婚式などの明るい話題も聞か れるようになった (7月3日:市鉄の歴史館)

住宅が大規模半壊・半壊の場合…10浸水区域に該当する場合…10分の10全壊、長期避難世帯区域または津波 重篤な傷病の場合

GANBAROU KAMAISHI

死亡、行方不明、重 ※減免申請の方法については、 分の5を減免■主たる生計維持者が 現 在

> い合わ  $\frac{1}{7}$ せ…高齢介護福祉 課 **7**

問い合わせ…市税務課(☎22~21民税用の減免申請書を送付します。

# ④ワンコインバスの運行

する広域路線バスは、8月1日から市内と大槌町・山田町の区間を運行100円)として運行しています。 ス停を発着として市内の病院やスーなどへの利便性を図るため、東前バ留意ください。また、通院や買い物 月30日までワンコインバス(市内の路線バスは、8月1日 を試験的に運行 通常運賃で運行していますので、ご 用ください。 発災直後から無料で運行 内の路線バスは、 を周回する「まちなか循環バス」 して いますので、 (一乗車 してきた から

### 教育環境の整備 )整備

# ①本年度保育料の無料化

します。 育型児童館の児童の保育料を無料本年度は幼稚園・認可保育所・ 護者に直接お知らせします 子育て世帯の経済的負担を軽 無料化に伴う手続きは、 保減 と保

### ②教育環境の整備

12月までに建設します。 石東・唐丹中学校の仮設校舎を本年

11

広報かまいし 平成23年8月臨時号

ことから、

ら、緊急的な雇用対策として、の皆さんが被災し職を失った

0

0人規模の雇用創出に取り

多く

商工業の振興

産業の振

を発揮できるようにするための工事していないため、今後は本来の能力

できる量や浄化能力が完全には復旧

を進めます。

### 岩手県知事選挙、岩手県議会議員選挙および釜石市議会議員選挙

9月11日印に、岩手県知事選挙、岩手県議会議員選挙および釜石市議会議員選挙が執行されます。 選挙人名簿は、住民票上の住所で作成されます。仮設住宅等にお住まいの場合でも、転居の届け出を していない方は、住民票上の住所のある投票所で投票することになります。

なお、平成23年8月15日までに転居の届け出をした方は、転居先の投票所で投票できます。

8月16日以降に転居の届け出をした方は、転居前の投票所で投票することになりますのでご注意くだ さい。当日投票所に行くのが困難な方は、「期日前投票」を積極的にご利用ください。

期日前投票は、下記の日程で行います。

場所		期間	時間	
	釜石市役所第5庁 舎第2会議室 (第一幼稚園道路 向かい)	県知事: 8月26日(金)~9月10日(土) 県 議: 9月3日(土)~9月10日(土) 市 議: 9月5日(月)~9月10日(土) ※9月5日以降は、すべての選挙の投票ができます。	午前8時30分~	
2	釜石市教育セン ター5階会議室 (鈴子町15-2) ※今回新たに設置	9月5日(月)・6日(火)・7日(水)の3日間 ※県知事・県議・市議すべての投票ができます。	午後8時	

9月11日(投票日)の投票時間、投票所などについては、8月20日の復興釜石新聞にて詳し くお知らせいたします。

問い合わせ…市選挙管理委員会(内線472、158)

### 私が考える復興プラン作文募集

### こんな 釜石にしたい!

問い合わせ…市総合政策課 (内線132)

市は、復興まちづくり基本計画 「スクラムかまいし復興プラン」の 策定にあたり、皆さんからの自由な ご意見、ご提言を広く募集いたしま

お寄せいただいた作文の中から、 優秀な作文を表彰し、その提案者に よる発表会および意見交換会を開催 します。

募集期間…8月10日(水)~9月6日(火) 提出方法… 600字程度にまとめ、郵 送、電子メール、FAXなどで市総 合政策課へ提出してください。様式 は任意とします。

〒026-8686 釜石市只越町3-9-13 FAX番号 22-6120 電子メール

sougou@city.kamaishi.iwate.jp

### 月から、 月一回の発行となりますいしは10月の第3水曜日 日にお届けします。 一石市からの 毎 月一 回 広報 第3水曜

から かま

お 配布物は、

的な取り組みをお伝えして 推進へと移りつつあります。 を送っていただくための具体 的に広報を発行し、市民の皆 市の体制は災害対策から復興 として発行いたしました。 興」というテーマで、 た広報かまいしを、「鎮魂と復 3月から発行を中断して |画完成後の10月からは定期 釜石市復興まちづくり基本 この 街で安心して生活 臨時号

年は一層胸に沁みるもの やご遺族の無念を思うと、 同じようにお盆はやってきま が、 8月は鎮 津波で亡くなられた方 、魂の月です。

ります。

編